

高齢者のうつと認知



人は誰でも物忘れをします。「物忘れ＝認知症」であると皆認知症になってしまいます。
人は誰でも気持ちが落ち込んだり、やる気が出なくなることがあります。「気分が落ち込む＝うつ病」であると皆うつ病になってしまいます。

見分け難い高齢者の認知症とうつについて知り、高齢者が辛い状態を理解し、適切に対応しましょう。

認知症

認知機能の低下のため

- ・一人で仕事や家事を普段通りできなくなる
- ・生活に支障がでる

気分が落ち込むことは誰にでもあります

⇒うつではない

うつ病

うつ症状のため

- ・出来ていたことが出来なくなる
- ・生活に支障がでる

見分けが難しい

	高齢者のうつ病	認知症 ・アルツハイマー型 ・レビー小体型
初期の症状	不眠、食欲低下等 体の不調など	物忘れ等 記憶障害
症状の進行	何かのきっかけで 発症、進行する	長時間かけて ゆっくり進行する
精神症状	貧困妄想、心気妄想 など	侵入妄想 ものとり妄想など

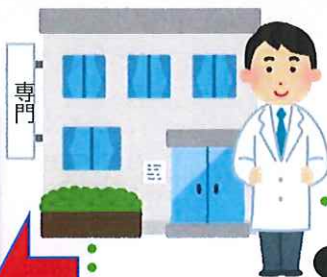
- ・「お金がなくなってしまう」
- ・体のことをくよくよ悩む

- ・「お金を盗まれた」
- ・「誰かが家に入ってくる」

★認知症専門の医療機関を受診しましょう

《 診断 》

1. うつ病でも認知症でもない
⇒他の病気かもしれない
2. うつ病であって認知症ではない
3. 認知症であってうつ病ではない
4. うつ病と認知症が合併している



●うつ病と認知症では治療法が異なります

●診断が違っていると、治療も違う方向に進んでしまいます

認知症高齢者の ひとり歩き

- ・ 認知症の人がひとりで外出しそのまま外を歩き続けてしまう「徘徊」
- ・ ただウロウロしているように見えても、本人は目的を持っていることが多いので、最近では「ひとり歩き」と言い換える傾向にあります

本人は



- ・ 目的があって歩いている
- ・ 記憶障害のため
途中で目的を思い出せなくなる
- ・ 見当識障害のため
自分がどこにいるか分からなくなる

特徴

- ・ 服装…季節、場に合わない格好
真冬なのに防寒着を着ていない、裸足、スリッパ など
- ・ 行動…長時間座りこんでいる
同じところを往復している
声をかけてもちぐはぐ

危険

転倒 交通事故
夏の熱中症
冬の寒さ

重要! 早期発見

- ・ 自分に置き換えてみてください
- ・ 知らない場所に怖い夢の中ひとりだけ
「ここどこ？」
「なんているの？」

見かけたら



あー、このおばあちゃん
買い物の行きにもここにいたわ。どうしたのかしら

買い物帰り



不安

不安で混乱している気持ちを察してあげましょう

- そっと近づき視野に入り声をかける。 後ろから声をかけない。
「何かお探しですか?」「どうかされましたか?」
- 警察又は市役所、地域包括支援センターに連絡する
- 身に着けているものに「氏名、住所、電話番号」が書いてある場合は、警察にその内容を伝える

知立市東部地域包括支援センター

TEL: 0566-82-8855

(FAX: 0566-83-4070)

場所: 知立市八ツ田町泉43

(知立市福祉の里八ツ田内)

担当エリア
小学校区

* 知立小学校 * 来迎寺小学校
* 八ツ田小学校 * 知立東小学校

知立市西部地域包括支援センター

TEL: 0566-81-8880

(FAX: 0566-83-7776)

場所: 知立市新林町北林44 (5月12日まで)

5月15日以降は知立市長篠町新田東11-32

担当エリア
小学校区

* 知立西小学校 * 猿渡小学校
* 知立南小学校